赤痢予防特集
心と体をきたえ
健康を増進しましょう

宇治市政だより

6/26
昭和58年
（1983年）
号外

発行 京都府宇治市
編集 文書広報課
〒611 京都府宇治市宇治琵琶33番地
電話 (0774)22－3141
●毎月1日・11日・21日発行

宇治市の赤痢禍終息

宇治市地域赤痢防疫対策本部

24日に終息を宣言

宇治市地域赤痢防疫対策本部（府宇治保健所・宇治市・宇治久世医師会で構成）は六月二十四日、宇治市内で発生した赤痢禍の終息宣言をしました。五月初めに発生して以来、約二カ月ぶり。これにより、市内で百三十六人が患者と診断された赤痢禍は、市民ぐるみの予防活動により終息しました。市では、赤痢のため中断していた予防接種や乳幼児健診を再開するなど、市民向け事業を平常どおり実施します。しかし、これからは、食中毒や伝染病の発生しやすい季節です。市民の皆さん一人ひとりが健康に注意してください。

▲多くの市民が参加して開かれた減塩梅干講習会（6月23日、木幡公民館で）

全患者が退院、発生もゼロに

二十四日に出された"赤痢終息宣言"は、六月六日以降、市内で新たな患者が発生していないことと、六月十五日まで入院されていた全員が退院され、その後の保健所の検査でも今、異常が無いことが確認されたことにより、宇治市地域では赤痢が終息したと判断されたものです。

五月初めに市内で発生した赤痢は、保育所園児や小学校児童を中心にこれまで百三十六人が患者と診断され、京都市立病院をはじめ八つの病院に収容されました。

このため市では、五月六日に「宇治市赤痢対策会議」を設置、関係施設や関係家庭の消毒を実施。さらに、市の施設の便所、手洗い場に消毒液を設置するなど防疫活動に取り組む一方、市政だよりを通じて市民に赤痢の予防を呼びかけるなど啓発活動を展開。また、市内の事業所二百四十一社と百三十の各種団体に赤痢予防の資料を送りました。

市民の皆さんが手洗いなど予防に努めるとともに日常の健康管理に注意していただいたことから、五月二十五日をピークに患者の発生は減少。六月五日を最後に市内から新たな患者は発生しなくなりました。そして、入院されていた患者の皆さんも治療によって菌が消失、感染のおそれもなくなり、六月十五日までにすべての入院患者が退院され、日常生活に戻っておられます。

こうしたことから、宇治市地域赤痢防疫対策本部では、宇治市地域の赤痢は終息したものと判断、一日も早く市民の皆さんの不安を解消するため二十四日、赤痢終息宣言をしました。

市民一人ひとりが健康管理を

今回の赤痢は、いろいろな面で市民生活に影響を与え、日常、伝染病に無関心になりがちな私たちに、多くの教訓を与えました。

市では、これらを今後の市政に生かすとともに、市民の皆さんとともに安全な生活環境づくりに努めたいと考えています。中でも、都市づくりに不可欠である下水道の建設を一層積極的にすすめたいと考えています。また、伝染病予防の市民啓発を十分に行うなど、予防知識の普及に努めることも大事です。そして、市民の皆さんに日常から予防に心がけていただき、市をあげて伝染病を未然に防ぎたいと考えています。

今回、患者と診断された人は、全員退院されています。地域の皆さんも「赤痢」を正しく理解し、思いやりの気持で迎えていただき、これまで以上の交流を深めてください。

今回、終息宣言は出ましたが、日ごろから手洗いをする、暴飲暴食をさけるなど、市民一人ひとりが健康管理に注意してください。

池本正夫宇治市長

今回の赤痢禍において、市民の皆さんには多大のご心配、ご不安をおかけいたしましたが、宇治市地域の終息宣言が先日出されました。

このたびの集団赤痢は、予測をこえ多数の患者発生となりましたが、京都府知事をはじめ関係機関、さらには多くの病院の絶大なご協力をいただく一方、市民の皆さんが一丸となって予防に努めていただいた結果、終息することができました。厚くお礼申し上げます。

入院された患者の皆さんは、全員退院され社会復帰いただいており、地域の皆さんも温かい気持で迎えていただきますようお願いいたします。

今後は、このたびの教訓を生かすとともに、一日も早く活力の回復に努めたいと考えております。

教訓を生かし 伝染病予防に全力

雨が多く蒸し暑いこのごろ――。梅雨を乗りきる体力をつけるとともに、次のことに心がけましょう。

規則正しい生活を

- 早寝早起きをする。
- 十分な睡眠をとりましょう。

バランスのとれた食事を

- 肉、野菜、魚、牛乳などバランスよく食べる。
- できるだけ火を通し、調理後すぐ食べる。

心がけよう家庭の健康

- 体調を整えるため暴飲暴食をさけること。

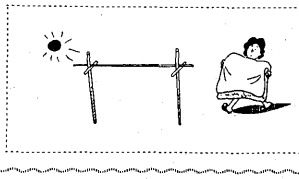
運動で体力づくり

- 体力をつけるため普段から運動に親しみましょう。

気分転換が図れ、心の健康にも役立ちます。

清潔にしましょう

- 用便後、食事前は水道水を流しながら石けんを使って十分手を洗いましょう。
- 新陳代謝をよくするためにも、毎日ふろに入りましょう。
- 台所器具や寝具、衣類などはできるだけ日光に当て消毒しましょう。
- ハエ、ゴキブリ、ネズミの駆除に努めましょう。



実施します

日本脳炎予防接種と
三種混合・乳幼児健康診査

赤痢禍のため中止しました六月分の日本脳炎予防接種と乳幼児健康診査を実施します。

■日本脳炎予防接種

基礎免疫は、初回として満三歳の時に、一・二週間の間隔で二回接種し、追加として翌年一回接種すると完了。

▼対象：満3歳児と昨年初回として2回接種した人。なお、6歳未満で基礎免疫の完了していない人も受けられます。（保健予防年間日程表で接種対象を「15歳未満」とお知らせしていましたが、「6歳未満」に変更します）

▼接種できない場合：①三種混合予防接種を受けて一週間以内②BCG、麻しん、ポリオの予防接種を受けて一カ月以内③流行性耳下腺炎、麻しん、風しん、水痘が治ってから一カ月以内の場合。

■三種混合予防接種

▼とき…6月27日(月)、午後2時～3時半▼ところ：保健医療センター▼対象：保健予防日程表をごらんください。

■乳幼児健康診査

▼3カ月児健診（58年1月、2月生）＝6月27日(月)、28日(火)、30日(木)、7月1日(金)▼1歳6カ月児健診（56年11月生）＝7月2日(土)、5日(火)、8日(金)、いずれも保健医療センターで実施します。

なお、七月一日以降の予防接種と健診、相談は、年間日程表のとおり行いますのでご注意ください。（ただし、日本脳炎予防接種は右表の日程で実施）くわしいことは保健衛生課（☎23－1141）まで。

日本脳炎予防接種日程表

会場	時間	月日 1回目	月日 2回目
木幡公民館	14：00～15：30	7/4(月)	7/11(月)
旦椋公会堂		7/5(火)	7/12(火)
伊勢田公民分館		7/6(水)	7/13(水)
一の坪集会所		7/6(水)	7/13(水)
小倉公民館		7/7(木)	7/14(木)
西小倉集会所		7/8(金)	7/15(金)
保健医療センター		7/9(土)、7/16(土)	7/23(土)
東宇治幼稚園		7/11(月)	7/18(月)
東目川公民分館	14：00～15：00	7/5(火)	7/12(火)
笠取小学校	14：30～15：00	7/7(木)	7/14(木)
笠取第二小学校	13：30～14：00		